

山口県感染症発生週報 (第6週:平成24年2月6日～2月12日)

1 全数把握感染症

【2類感染症】

◆**結核**: 第2週追加:2例(いずれも宇部)。第3週追加:2例(いずれも宇部)。第4週追加:2例(いずれも宇部)。第5週追加:1例(宇部)。第6週:8例(下関、岩国5例、周南、防府)。

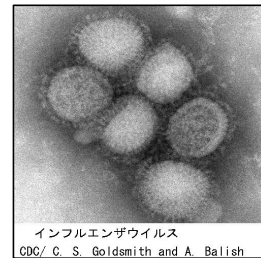
【3類感染症】

◆**腸管出血性大腸菌感染症**: 第5週追加:1例(宇部 O157:VT2、先週の3例の家族)。

【4類感染症】

◆**レジオネラ症**: 第6週:1例(岩国)。

◆**劇症型溶血性レンサ球菌感染症**: 第5週追加:1例(宇部)。



インフルエンザウイルス
CDC/ C. S. Goldsmith and A. Balish

2 定点把握感染症(5類感染症)

(1)特記事項

◆**インフルエンザ**: 患者報告数は先週よりやや減少しましたが、警報レベルが続いています。すべての地域で流行しており、宇部は注意報レベル、その他の地域は警報レベルです。迅速検査では、A型陽性2988例、B型陽性32例、臨床診断237例でした。また当所では、第4～6週の検体についてPCR検査を行った結果、A/H3(香港型)が9例、B型が7例検出されています。

【警報レベル=山口(4週目)、岩国(4週目)、下関(3週目)、防府(4週目)、周南(7週目)、長門(4週目)、萩(3週目)、柳井(4週目)】【注意報レベル=宇部(4週目)】※

◆**RSウイルス感染症**: 長門、萩では他地域と比較して多くみられます。

◆**A群溶血性レンサ球菌咽頭炎**: 増加しています。【警報レベル=山口(新)】※

◆**感染性胃腸炎**: 冬季はウイルスを原因とした感染性胃腸炎が流行しやすいので引き続き注意が必要です。萩は警報レベルが続いています。【警報レベル=萩(3週目)】※

◆**水痘**: 下関、長門は注意報レベルが続いています。【注意報レベル=下関(8週目)、長門(2週目)】※

◆**伝染性紅斑**: 周南はやや多い状況が続いています。【警報レベル=周南(4週目)】※

◆**流行性耳下腺炎**: 長門は警報レベルが続いています。【警報レベル=長門(10週目)】※

※警報レベル・注意報レベルの基準値詳細についてはHPをご覧ください。
<http://kanpoken.pref.yamaguchi.lg.jp/jyoho/report2011/keihotyuuhiho.php>

(2)週別発生状況

疾患名	4週	5週	6週	疾患名	4週	5週	6週
インフルエンザ	3149	3563	3257	百日咳	1	0	0
RSウイルス感染症	69	53	47	ヘルパンギーナ	1	0	0
咽頭結膜熱	4	10	3	流行性耳下腺炎	19	19	23
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	133	137	161	急性出血性結膜炎	0	0	0
感染性胃腸炎	336	324	318	流行性角結膜炎	5	5	2
水痘	107	112	104	クラミジア肺炎	0	0	0
手足口病	0	0	3	細菌性髄膜炎	0	0	0
伝染性紅斑	21	17	23	マイコプラズマ肺炎	3	1	7
突発性発しん	29	28	23	無菌性髄膜炎	0	0	0

(3)地域別発生状況

疾患名	下関	岩国	柳井	周南	防府	山口	宇部	長門	萩	全体
インフルエンザ	809	537	52	510	245	576	299	138	91	3257
RSウイルス感染症	11	0	1	10	4	0	5	8	8	47
咽頭結膜熱	0	1	0	0	1	0	1	0	0	3
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	17	10	7	39	12	43	19	3	11	161
感染性胃腸炎	58	23	7	67	7	57	63	6	30	318
水痘	48	7	5	6	3	12	11	8	4	104
手足口病	1	0	0	0	0	0	2	0	0	3
伝染性紅斑	3	0	3	12	1	2	2	0	0	23
突発性発しん	3	0	1	4	2	5	7	0	1	23
百日咳	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
ヘルパンギーナ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
流行性耳下腺炎	7	2	0	1	2	1	0	9	1	23
急性出血性結膜炎	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
流行性角結膜炎	0	0	0	0	1	0	1	0	0	2
クラミジア肺炎	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
細菌性髄膜炎	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
マイコプラズマ肺炎	1	2	0	1	0	3	0	0	0	7
無菌性髄膜炎	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

※平成24年2月20日、2月29日に追加報告がありましたので、一部修正しました。